

選択科目（2年次）

循環器内科

I. 一般目標

内科の総合的臨床能力を基礎とし、循環器内科に必要な基本的知識を身につけるために、

- 1) 心電図読影、心エコー検査ができる。
- 2) 心臓カテーテル検査、冠動脈形成術を理解し経験できる。
- 3) 虚血性心疾患、心不全、不整脈への初期対応ができる。

II. 担当する診療科

循環器内科

III. 研修期間

1カ月以上

IV. 指導スタッフ

	氏名	職名・担当	医師登録年月	指導医講習
責任者・指導医	森 清男	副院長 (循環器内科)	1972.6	◎
	油尾 亨	内科医長 (循環器内科)	2009.4	

V. 基本的な指導方法

1. 指導医とともに入院患者の診察を行う。
2. 指導医とともに心エコー、心カテーテル検査等の循環器各種検査を行う。
3. 指導医とともに救急患者への対応を行う。
4. 内科病棟・集中治療センター・血液浄化センターで行われる総回診・カンファランス（毎週木曜日・16時～）に参加する。
5. 内科・外科合同カンファランス（毎週金曜日・17時～）に参加する。
6. 院内の画像診断カンファランス（隔週の月曜日・17時～）に参加する。
7. 指導医・上級医とともに当直業務を行う。

VI. 基本的週間スケジュール

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
月			外来診察				心臓カテーテル検査			画像診断
火			心エコー				病棟診察			
水			外来診療				病棟診察			
木			心エコー				病棟診察		内科総回診	
金			外来診療				心臓カテーテル検査			
土			病棟診療							

VII. 行動目標（→p12）

VIII. 経験目標 (→ p13~21)

A. 経験すべき診察法・検査・手技 (→ p23~25、必修科目内科の項参照)

B. 経験すべき症状・病態・疾患

- ・ 頻度の高い以下の症状を経験し、鑑別できる (→ p24、必修科目内科の項参照)。
- ・ 緊急を要する症状・病態を経験し、初期治療に参加できる (→ p25、必修科目内科の項参照)。
- ・ 経験が求められる疾患・病態
 - 心不全、狭心症・心筋梗塞、心筋症、不整脈 (主要な頻脈性・徐脈性不整脈)、弁膜症、
 - 動脈疾患 (動脈硬化症・大動脈瘤)、静脈・リンパ管疾患、
 - 高血圧症 (本態性)

C. 特定の医療現場の経験 (→ p25、必修科目内科の項参照)。



心臓カテーテル検査